

取材を終えて

イベント会場で「御前崎っていいところだね。自然に囲まれている感じがする。うちのまちではこんな感覚味わえないね」という声が聞こえた。観光客の口から出たその言葉と小野木事務局長の「このまちにしかないもの。このまちだからこそできることを売りにするー」という言葉がリンクした。まちの観光の方向性が見えた気がした。

島田さんが言うように、潮騒の像付近は素晴らしい場所なのにも関わらず、地元の人あまり訪れることはない。このまちには観光資源がたくさんある。一方で、資源があることが当たり前すぎて私たち自身がその魅力に気が付いていない、あるいは、見失っているのではないかと、水平線に沈むきれいな夕日を見たときに感じた。

このまちの魅力を市外の人に広めることができるのは私たちだけ。言い換えれば、私たち次第でまちの観光が活性化するという。今こそ私たちのこのまちに対する愛をカタチにするとき。まずは、地域の魅力を再確認。そして御前崎の良さをアピールしよう。大勢の人が動き出せば、このまちはおそらく輝きを放ち続けるまちになるだろう。

特集 愛をカタチに 終



夕日に手で作ったハート形を透かし、お互いの気持ちを確認合うカップル。